

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 池田 辰雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 田中 慶壽

TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,946	△53.4	△1,409	—	△1,537	—	△1,593	—
21年3月期第2四半期	27,802	—	355	—	313	—	153	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△10.86	—
21年3月期第2四半期	1.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	39,268	17,949	45.7	122.35
21年3月期	40,961	19,721	48.1	134.43

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 17,949百万円 21年3月期 19,721百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△41.5	△2,050	—	△2,150	—	△2,400	—	△16.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 146,876,174株 21年3月期 146,876,174株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 170,500株 21年3月期 166,915株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 146,707,422株 21年3月期第2四半期 146,727,659株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想は、平成21年4月28日に公表いたしました予想から修正しておりません。

(2) 業績予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご理解ください。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

(3) 当期末の配当につきましては、今後の需要動向など経営環境が極めて不透明であるため、現時点では未定とさせていただきます。なお、今後の業績や財政状態等を検討し、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。具体的な開示時期につきましては第3四半期の決算発表時となる見込みです。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や経済対策の効果などから、自動車や電子・デバイス分野など一部産業分野の生産規模が底を打ち増加傾向となりましたが、個人消費や設備投資が低水準で推移していることや雇用環境もまだ好転の兆しが見えないなど、引き続き厳しい状況となりました。また、こうした経済環境の中で、同期間における日本の粗鋼生産量は4,333万トン（前年同期比29.6%減）、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は633万トン（前年同期比43.5%減）と前年同期に比べて大きく減少いたしました。

このような環境下で当社グループは、最大限の売上確保、固定費の削減などの緊急収益改善策の推進に全社を挙げて取り組みましたが、数量減の影響が大きく、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,946百万円（前年同期比53.4%減）、営業損失1,409百万円（前年同期は355百万円の利益）、経常損失1,537百万円（前年同期は313百万円の利益）、四半期純損失1,593百万円（前年同期は153百万円の利益）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

[特殊鋼]

産業機械・自動車産業向けを中心に工具鋼や特殊合金の数量が減少した結果、売上高は10,634百万円（前年同期比52.1%減）と大幅に減少いたしました。また営業利益につきましては、価格低下に伴う原材料コストの減少や労務費をはじめとした固定費の削減効果があったものの、売上高減少の影響が大きく1,089百万円の営業損失（前年同期は136百万円の利益）となりました。

[鉄鉄]

主力分野である自動車関連や建設機械向けなどの数量減少などにより、売上高は1,707百万円（前年同期比59.8%減）と大幅に減少いたしました。また営業利益につきましては、固定費削減や原材料コストの削減などに努めたものの、売上高減少の影響が大きく156百万円の営業損失（前年同期は172百万円の利益）となりました。

[金型・工具]

主力の金型部品で自動車関連向けに受注が低迷したことなどから、売上高は605百万円（前年同期比55.1%減）と大幅に減少いたしました。また営業利益につきましても固定費をはじめとした費用削減に努めたものの、164百万円の営業損失（前年同期は46百万円の利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は受取手形及び売掛金の減少196百万円、たな卸資産の減少888百万円、有形固定資産の減少622百万円等により39,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,692百万円減少しました。

負債合計は支払手形及び買掛金の減少932百万円、短期借入金の増加2,116百万円、退職給付引当金の減少312百万円等により21,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加しました。

純資産合計は四半期純損失の計上1,593百万円や配当金の支払による減少220百万円等により17,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,771百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.1%から45.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ144百万円増加し、379百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費905百万円、たな卸資産の減少888百万円、売上債権の減少196百万円等により増加した一方、税金等調整前四半期純損失1,600百万円、仕入債務の減少1,010百万円、退職給付及び役員退職慰労引当金の減少314百万円等により減少した結果、1,251百万円の支出（前年同期は1,405百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出395百万円等により、415百万円の支出（前年同期は799百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入2,116百万円による増加、配当金の支払額220百万円による減少等により、1,811百万円の収入（前年同期は649百万円の支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の需要環境は不透明ながらも回復に向かうと想定されます。こうした中で受注拡大に向けた取組みを一層強化し、特殊鋼事業を中心に数量を拡大するとともに、固定費削減などの緊急収益改善策を推進することにより、下期の業績は上期に比べて改善する見通しです。しかしながら、前回予想時に比べ受注回復が緩やかになると見込まれることや原材料価格が上昇傾向にあることなどから、上期から下期にかけての業績改善幅は前回予想時を下回る見通しです。そのため通期の業績予想は連結、個別とも前回予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理
(棚卸資産の評価方法)

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(税金費用の計算)

税金費用については、従来、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、親会社との会計方針の統一を目的として、当第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125	125
受取手形及び売掛金	5,073	5,270
製品	3,385	3,691
仕掛品	5,044	5,019
原材料及び貯蔵品	4,069	4,676
その他	417	477
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	18,110	19,255
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,145	7,402
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,148	4,514
有形固定資産合計	19,801	20,423
無形固定資産		
	119	118
投資その他の資産		
投資有価証券	912	844
その他	367	351
貸倒引当金	△42	△32
投資その他の資産合計	1,237	1,163
固定資産合計	21,158	21,706
資産合計	39,268	40,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,732	5,665
短期借入金	7,057	4,940
未払法人税等	34	4
賞与引当金	301	306
その他	2,300	3,159
流動負債合計	14,425	14,077
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	3,631	3,944
その他の引当金	46	48
その他	844	799
固定負債合計	6,892	7,162
負債合計	21,318	21,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	△273	1,540
自己株式	△25	△25
株主資本合計	17,098	18,913
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116	74
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	850	808
純資産合計	17,949	19,721
負債純資産合計	39,268	40,961

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	27,802	12,946
売上原価	25,135	12,742
売上総利益	2,666	204
販売費及び一般管理費	2,310	1,614
営業利益又は営業損失(△)	355	△1,409
営業外収益		
受取配当金	21	8
受取賃貸料	17	16
助成金収入	—	158
その他	101	65
営業外収益合計	140	249
営業外費用		
支払利息	38	36
売上債権売却損	46	14
出向者人件費負担金	42	23
休業費用	—	198
その他	55	104
営業外費用合計	183	377
経常利益又は経常損失(△)	313	△1,537
特別損失		
固定資産処分損	25	50
ゴルフ会員権評価損	—	12
特別損失合計	25	62
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	287	△1,600
法人税、住民税及び事業税	—	9
法人税等調整額	—	△15
法人税等合計	134	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	153	△1,593

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	287	△1,600
減価償却費	964	905
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△591	△314
売上債権の増減額(△は増加)	836	196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,644	888
仕入債務の増減額(△は減少)	1,907	△1,010
その他の資産・負債の増減額	455	—
その他	—	△464
小計	2,214	△1,399
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△808	147
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405	△1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△833	△395
利息及び配当金の受取額	26	10
その他	6	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△799	△415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,116
長期借入金の返済による支出	△94	△36
リース債務の返済による支出	—	△12
自己株式の取得による支出	△2	△0
配当金の支払額	△513	△220
利息の支払額	△38	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△649	1,811
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42	144
現金及び現金同等物の期首残高	1,171	235
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,128	379

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,211	4,244	1,347	27,802	—	27,802
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	19	15	170	(170)	—
計	22,347	4,263	1,362	27,973	(170)	27,802
営業利益	136	172	46	355	—	355

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,634	1,707	605	12,946	—	12,946
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	61	9	8	79	(79)	—
計	10,695	1,716	614	13,026	(79)	12,946
営業損失(△)	△1,089	△156	△164	△1,409	—	△1,409

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) 特殊鋼……………鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）

特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）

その他（加工品、ビレット、その他）

(2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品（ダクタイル鋳物、普通鋳物）

(3) 金型・工具……………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,995	62	3,058
II 連結売上高（百万円）			27,802
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.8	0.2	11.0

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,788	12	1,801
II 連結売上高（百万円）			12,946
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.8	0.1	13.9

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

平成21年10月30日

〈参考資料〉

平成22年3月期 第2四半期決算発表

日本高周波鋼業株式会社

連結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第2四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第2四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	12,946	△ 14,855	△53.4%	27,802	28,500	△ 20,247	△41.5%
営業利益	△ 1,409	△ 1,765	—	355	△ 2,050	△ 1,916	—
経常利益	△ 1,537	△ 1,850	—	313	△ 2,150	△ 1,926	—
四半期(当期)純利益	△ 1,593	△ 1,747	—	153	△ 2,400	△ 840	—
売上高経常利益率	△11.9%	—	—	1.1%	△7.5%	—	—
1株当たり四半期純利益	△10円86銭	—	—	1円04銭	△16円36銭	—	—
設備投資	314	△ 355	△53.0%	670	1,350	△ 240	△15.1%
減価償却費	905	△ 58	△6.1%	964	1,800	△ 115	△6.0%

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

(単位:百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期	第2四半期	21年3月期	第2四半期	売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	10,634	△ 1,089	22,211	136	△ 11,576	△ 1,226
鑄鉄	1,707	△ 156	4,244	172	△ 2,536	△ 328
金型工具	605	△ 164	1,347	46	△ 742	△ 210
合計	12,946	△ 1,409	27,802	355	△ 14,855	△ 1,765

3. 経常利益増減益要因(前年同期比) 3億円 → △15億円(18億円の減益)

(単位:億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 固定費の減少	20	1. 数量・構成	42
2. 原燃料価格	17	2. 販売価格	11
		3. その他	2
計(A)	37	計(B)	55
		差引(A)-(B)	△ 18

個別

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第2四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第2四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	9,669	△ 10,975	△53.2%	20,645	22,000	△ 15,223	△40.9%
営業利益	△ 867	△ 698	—	△ 169	△ 1,400	△ 1,163	—
経常利益	△ 908	△ 848	—	△ 60	△ 1,500	△ 1,351	—
四半期純利益	△ 961	△ 902	—	△ 59	△ 1,750	△ 998	—
売上高経常利益率	△9.4%	—	—	△0.3%	△6.8%	—	—
1株当たり四半期純利益	△6円55銭	—	—	0円40銭	△11円93銭	—	—

2. 部門別売上高(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期	第2四半期	21年3月期	第2四半期	数量	金額
	数量	金額	数量	金額		
工具鋼	13.3	3,703	30.3	8,347	△ 17.0	△ 4,643
特殊合金	5.7	3,730	9.4	7,926	△ 3.6	△ 4,195
軸受鋼	10.0	2,235	24.6	4,371	△ 14.6	△ 2,136
合計	29.1	9,669	64.3	20,645	△ 35.2	△ 10,975

以上